



全学の入学者は約5,500人

2009年度の学部新入学生は、今春開設の教育学部や既存学部の新設学科を含めて、10学部合計で5,552人。商学部は昨年比28名減の641人となり、そのうち4人は商学部で今年初めて受け入れるジョイントディグリー編入の学生です。男女別では男子414人、女子227人。

商学部の一般入試における合格者数上位高校ベスト16は、第1位が星陵高校（大阪）で24人、以下、御影高校（兵庫）20人、豊中高校（大阪）19人、郡山高校（奈良）17人、履正社高校（大阪）16人、桃山学院（同）14人、7位に天王寺高校（同）、神戸高校、姫路西高校、北摂三田高校（以上兵庫）の4校が13人で、11位に夢野台高校、長田高校、加古川西高校、須磨学園高校（同）、三国丘高校、清風高校（以上大阪）の6校が12人で並んでいます。

外国人留学生は7名が入学

今年度入学の外国人留学生は7名。国籍別では、中国が5名、韓国・カナダが各1名。3月24日には留学生懇親会が開かれ、学部長ほか、学部スタッフ、先輩留学生との交歓が行われました。また本年は、ジョイントディグリー編入で、4年生に韓国からの留学生が編入しています。

2008年度の就職状況

2008年という年は、100年に一度の世界的な不況の発端となった年といわれます。その状況下、商学部男子は従業員5,000人以上の巨大企業に全体の30.5%が就職しました。この数字は全学部中2位の社会学部を0.5ポイント押さえて学内トップとなっています（女子は41.8%で、経済学部・法学部について全学3位）。

このほか男子の就職先の規模別状況は従業員1,000人以上が38.5%、従業員500人以上1,000人未満が13.5%、従業員100人以上500人未満が12.1%となっています。女子は従業員1,000人以上が26.9%、従業員500人以上1,000人未満が10.6%、従業員100人以上500人未満が15.4%となっています。

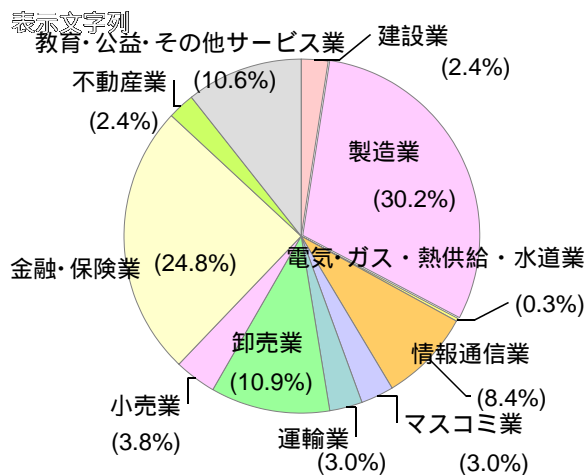
大きな動きとしては、女子の比重が高かった金融・保険業への就職が前年度の53.9%か

ら激減し、41.8%となったことです。その分製造業・教育・公益・その他サービス業といった業種に、前年度より高い比率の学生が就職しています。

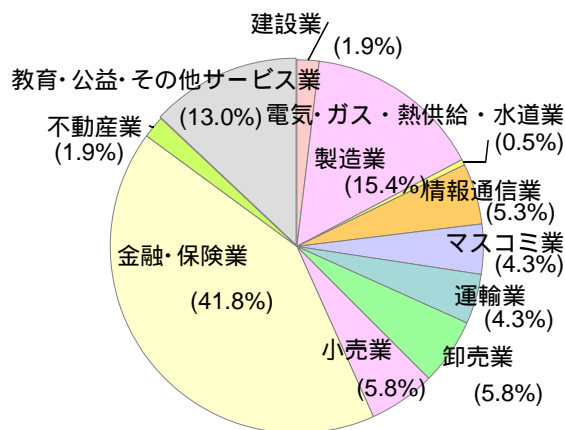
本年度の状況も予断を許さない厳しさがありますが、学生のみなさんのご健闘を祈ります。

<数字は2009年4月22日現在>

男子



女子



検定・資格で346人が単位取得

商学部のカリキュラムの特徴の一つとして、検定試験・資格試験による単位認定制度があります。これは、英語をはじめとする語学検定、簿記検定、ファイナンシャル・プランニング技能検定、公認会計士試験といった各種資格試験合格者に関係科目の単位を認定するものです。

2008年度に検定試験・資格試験合格によって、商学部の単位を修得した学生は延べ346人でした(2007年度は221人)。検定・資格試験を一つの励みにして、学習計画を立てることも非常に有効です。積極的に当該制度を利用して、学習計画に役立てましょう。

2008年度のチャペル出席者は 延べ5,385人

2008年4月から2009年1月にかけて商学部では計80回のチャペルが行われ、この期間の出席者数は、延べ5,385人となりました。出席者を学年別にみると、1,2年生の比重が高いですが、3,4年生でも複数回にわたり出席している人もいます。チャペルの時間は心を落ち着かせ、自分を見つめ直す良い機会です。最近就職活動で忙しい、という上級生も、友達を誘って出席してみたいかたがたでしょう。

商経学部開設75周年記念 学術講演会の開催

4月と6月に、2つの商学部主催学術講演会が開催されます。いずれも、商経学部開設75周年記念学術講演会の一環として行われるものです。演題、講師と開催日時等は、つぎのとおりです。

「国際会計基準(IFRS)のアドプションを巡る動向と課題(Trends and Issues of Adopting IFRS)」

講師 :Mary Barth 氏 国際会計基準審議会 (IASB)理事、スタンフォード大学教授
山田 辰己氏 国際会計基準審議会 (IASB)理事

日時 :4月30日(木)第3時限(13時30分~)

会場 :B号館103号教室

「企業活動のグローバル化と公認会計士の役割 海外での経験から」

講師 :森 和孝氏 KPMG 会計事務所ニューヨーク代表

日時 :6月16日(火)第4時限(15時10分~)

会場 :B号館304号教室

教員の著書・出版

井上 達男 教授

共訳・共編著 『会計制度の実証的検証』
(中央経済社)

定価3,600円、2009年3月10日付け出版

山口 隆之 教授

著書 『中小企業の理論と政策
-フランスにみる潮流と課題-』
(森山書店)

定価3,500円、2009年3月10日付け出版

木山 実 教授

著書 『近代日本と三井物産-総合商社の起源』
(ミネルヴァ書房)

定価5,000円、2009年3月30日付け出版



留学および留学予定

森本 達夫 教授

期 間 2009年4月1日~6月29日

留学先 パリ第三大学

研究テーマ ルネ・ド・オバルディア研究

榊原 茂樹 教授

期 間 2009年5月11日~8月14日

留学先 オックスフォード大学・
ハートフォードカレッジ

研究テーマ 証券価値評価の理論と証券投資
技法についての研究

なお、田中裕幸 准教授(~2009年8月)も
留学を継続中です。

2009年度執行部紹介

学部長	瀬見 博 教授
(研究科委員長)	
教務主任	林 隆敏 教授
教務副主任	山口隆之 教授
学生主任	藤沢武史 教授
学生副主任	岩松正洋 准教授
事務長	阿部洋夫

